安全のために必ずお守りください。

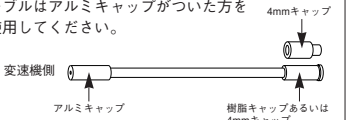
⚠ 警告

● 製品を取付ける際は、必ず取扱説明書等に示している指示を守ってください。
その際、シマノ純正部品のご使用をお勧めします。またボルトやナット等が緩んだり、破損しますと突然に転倒して怪我をする場合があります。

● 製品を取付ける際は、必ず取扱説明書等に示している指示を守ってください。
調整が正しくない場合、チェーン外れ等の発生により、突然に転倒して怪我をする場合があります。

● 取扱い説明書はよくお読みになった後、大切に保管してください。

使用上の注意

● 変速に関係するすべてのレバー操作は、必ずフロントチェーンホイールを回しながら行ってください。
● 円滑な操作のため、指定ケーブル及びB.B.ガイドをご使用ください。
● インナーケーブルとアウターケーブルの摺動部分が、グリス潤滑された状態で使用してください。
● インナーケーブル内蔵フレームは、ワイヤー効率が悪くSISが働きにくいため、ご使用できません。
● アウターケーブルはアルミキャップがついた方を変速機側に使用してください。

● 変速ケーブル（SIS-SP41）には専用グリスを使用しています。DURA-ACEグリスや他のグリスを使用すると変速機能が低下します。
● 通常の使用において自然に生じた摩耗及び品質の劣化は保証いたしません。
● 取扱い方法及びメンテナンスについて疑問のある方は、購入された販売店にご相談ください。

ご使用方法

SI-6K20A-001

ST-6600 ST-6603

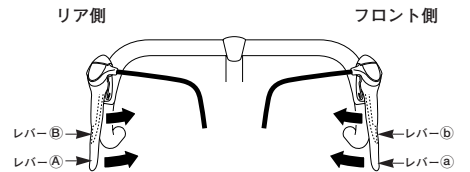
シマノ・トータル・インテグレーション

シマノ・トータル・インテグレーション特徴

ブレーキレバー本来のタテ方向の動きに加え、同レバーをヨコ方向に操作して変速を行うデュアル・コントロール・レバーを実現。手を離すことなく簡単に変速が行えます。

機能を充分に発揮させるために、次のラインナップによる使用を推奨いたします。

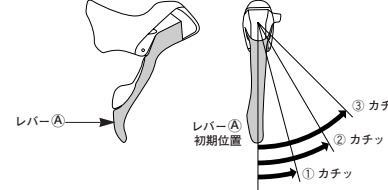
シリーズ	ULTEGRA	
シフティングレバー	ST-6600 ST-6600-G	ST-6603 ST-6603-G
アウターケーブル	SP41	
スピード	20	30
フロントディレイラー	FD-6600 FD-6600-G	FD-6603 FD-6603-G
フロントチェーンホイール	FC-6600 FC-6601-G	FC-6603 FC-6604-G
リアディレイラー	RD-6600-SS RD-6600-SS-G	RD-6600-GS RD-6600-GS-G
フリーハブ	FH-6600	
カセットスプロケット	CS-6600	
チェーン	CN-6600	
B.B.ガイド	SM-SP17	

操作変速方法

リア側　フロント側

レバー Ⓐ：リア小ギアから大ギアへの変速
レバー Ⓑ：リア大ギアから小ギアへの変速
レバー ⓐ：フロント小ギアから大ギアへの変速
レバー ⓑ：フロント大ギアから小ギアへの変速

各レバーとも、操作後に指を離すと必ずレバー初期位置に戻ってきます。

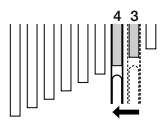
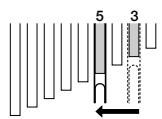
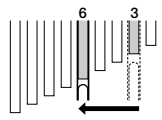
■ リア側レバーの操作

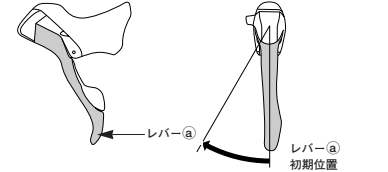
● レバーⒶ ………リア小ギアから大ギアへの変速
レバーⒶには①、②、③の3ケ所にカチッというあたりがあります。

①：1段だけ変速　例：3段目から4段目へ
②：2段分一気変速　例：3段目から5段目へ
③：3段分一気変速　例：3段目から6段目へ

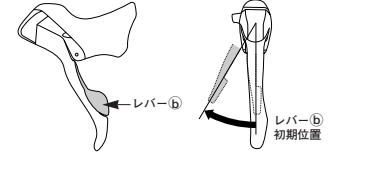
● レバーⒷ ……… リア大ギアから小ギアへの変速
レバーⒷを1回押してはなすと、大ギアから小ギアへ1段変速します。

例：4段目から3段目へ

操作時の注意
レバーⒶ操作時には、レバーⒷも共に動きますが、レバーⒷには押す力を加えないように注意してください。また、レバーⒷ操作時には、レバーⒶを押さないように注意してください。両レバーに一度に力がかかると変速しません。

RD-6600 / 6600-Gの取扱い説明書もあわせてお読みください。

■ フロント側レバーの操作 (FD-6600 / 6600-G)

●レバー ⓐ ………フロント小ギアから大ギアへの変速

レバーⓐの操作が変速完了ストロークに達していなかった場合、不足ストローク分（X）だけ再度レバーⓐを操作（X'）して変速を完了します。

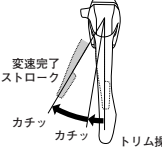
●レバー ⓑ………フロント大ギアから小ギアへの変速

レバーⓑを操作すると、まずトリム操作あたりがカチッとあり、次のあたりが変速完了ストロークとなります。トリム操作後はトリム操作のあたりはなくなり、変速完了ストロークのあたりのみとなります。

■ フロント側レバーの操作 (FD-6603 / 6603-G)

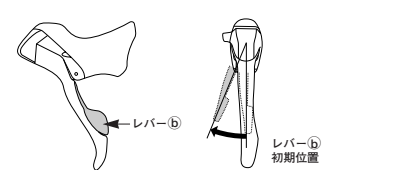
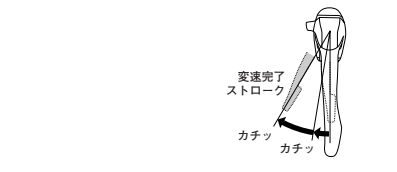
●レバー ⓐ ………フロント小ギアから大ギアへの変速

レバーⓐの操作が変速完了ストロークに達していなかった場合、不足ストローク分（X）だけ再度レバーⓐを操作（X'）して変速を完了します。

●レバー ⓑ………フロント大ギアから中間ギアへの変速

●レバー ⓑ………フロント中間ギアから小ギアへの変速

トリム操作（音鳴り防止機構）

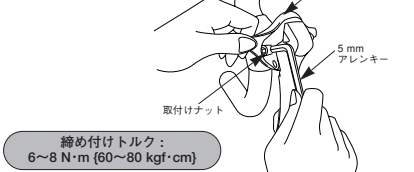
チェーンポジションがフロント大ギア、あるいは中間ギアでリア大ギアでフロントディレイラー内プレートとチェーンが接触し、音鳴りが発生した場合に行います。レバーⓑを軽く押す（カチッとあたりがある）とフロントディレイラーがわずかに小ギア方向へ移動し、音鳴りが解消されます。

チェーンポジションがフロントが小ギアあるいは中間ギアでリアがトップギア付近で、フロントディレイラー外プレートとチェーンが接触し音鳴りが発生した場合はレバーⓐを少し操作してフロントディレイラーをわずかに大ギア側に動かして音鳴りを解消します。

操作時の注意（FD-6600 / 6600-G / 6603 / 6603-G）
レバーⓐ操作時には、レバーⓑも共に動きますが、レバーⓑには押す力を加えないように注意してください。また、レバーⓑ操作時には、レバーⓐを押さないように注意してください。両レバーに一度に力がかかると変速しません。

FD-6600 / 6600-G / 6603 / 6603-Gの取扱い説明書もあわせてお読みください。

取付け

■ ハンドルバーへの取付け

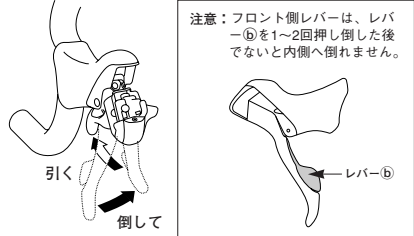
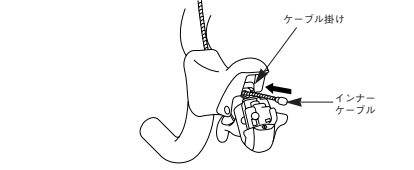
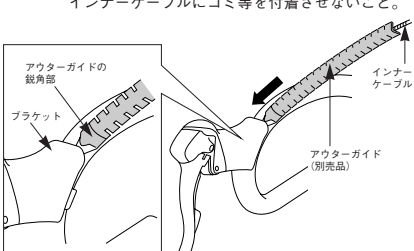
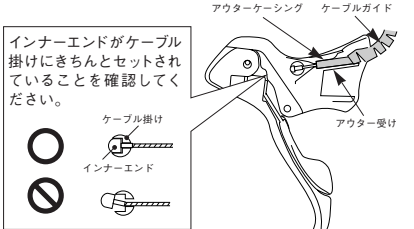
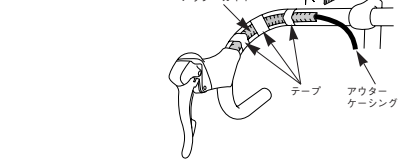
ブラケット部外側の取付けナットで固定します。ブラケットカバーをめくり、5mmアレンキーで締め付けます。

締め付けトルク：6〜8 N·m {60〜80 kgf·cm}

カーボンハンドルの場合には、ハンドルへの損傷を防ぐために締め過ぎないようにご注意ください。適切なトルク値に関しては完成車メーカーまたはハンドルメーカーでご確認ください。

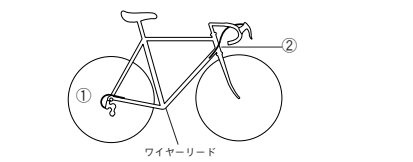
■ ブレーキケーブルの取付け

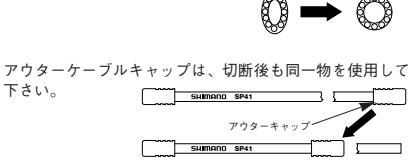
使用ケーブル
・インナーケーブル（ステンレススティール）…………… φ1.6 mm
・SLRアウターケーシング……… φ5 mm

ケーブルは、ハンドルを左右一杯切っても余裕のある長さで使用してください。

1. レバーを内側へ倒して（シフティング操作）から引き、ケーブル掛けにケーブルを通しやすくします。

2. インナーケーブルを通します。

3. アウターガイドをインナーケーブルに取付け、その鋭角部をブラケットにセットします。
注意：インナーケーブルのグリスは拭き取らないこと。インナーケーブルにゴミ等を付着させないこと。

4. インナーケーブルにアウターケーシングをセットし、アウターガイドに沿ってブラケットにセットします。

5. アウターケーシングをハンドルバー前方に沿わせ、その上からアウターガイドをかぶせます。このときハンドルバーの長さに応じてアウターガイドをカットし、テープなどで仮止めします。

6. 最後にバーテープを巻きつけます。

■ シフティングケーブルの取付け

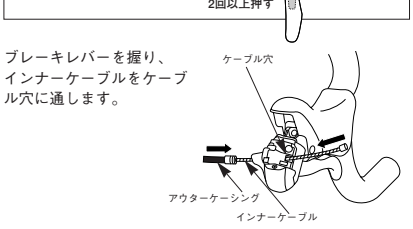
使用ケーブル
・インナーケーブル（ステンレス スチール） φ1.2 mm
・SP41シールドアウターケーシング (①) φ4 mm
・SP41アウターケーシング (②) φ4 mm

アウターケーブルの切断
アウターケーブルを切断する場合には刻印の反対側を切断してください。切断後の端面は、外側を真円に戻し、穴の内側を整えてください。

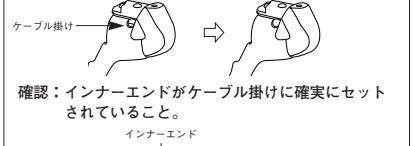
アウターケーブルキャップは、切断後も同一物を使用して下さい。

●リア側レバー

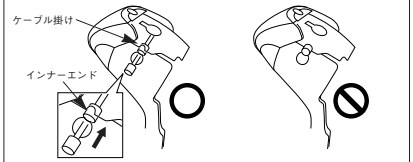
レバーⒷを9回以上押してレバー位置をトップにしてください。

ブレーキレバーを握り、インナーケーブルをケーブル穴に通します。

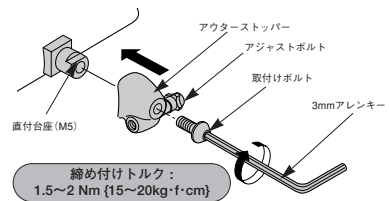
●フロント側レバー

レバーⓑを2回以上押してからレバー位置をローにしてください。

ブレーキレバーを握り、インナーケーブルをケーブル穴に通します。

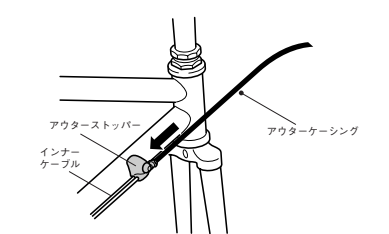
<ST-6600 / 6600-G>
シフティングケーブル穴にケーブル掛けが一致していない場合には、再度レバーⒷを押し、一致させてから、ケーブルを取付けてください。

確認：インナーエンドがケーブル掛けに確実にセットされていること。

<ST-6603 / 6603-G>
シフティングケーブル穴にケーブル掛けが一致していない場合には、再度レバーⓑを押し、一致させてから、ケーブルを取付けてください。
確認：インナーエンドがケーブル掛けに確実にセットされていること。

●アウターストッパー

1. ダウンチューブにアウターストッパーを取付けます。

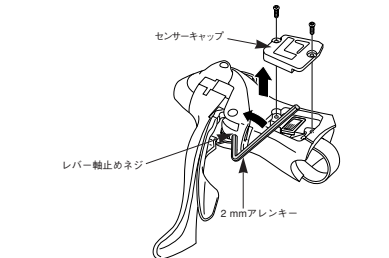
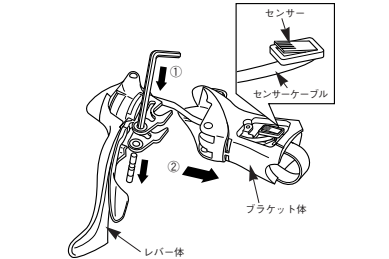
締め付けトルク：1.5〜2 Nm {15〜20kg·f·cm}

アジャストボルトを締め込んだ状態で取付けてください。
アジャストボルトの調整シロは6回転です。

2. インナーケーブルを通し、アウターケーシングをセットします。

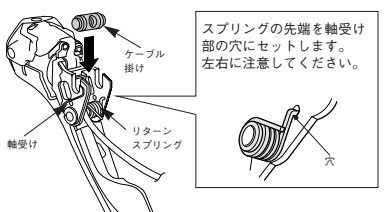
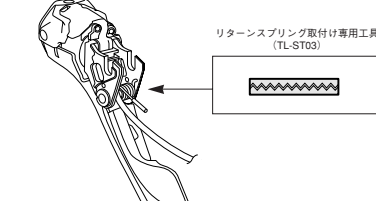
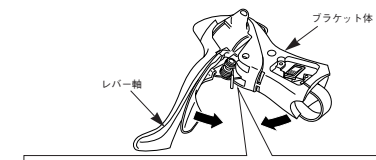
アウターケーシングはハンドルを左右一杯に切っても余裕のある長さのものを使用してください。

確認：
アウターケーシングがアウターストッパーにきちんとセットされていること。

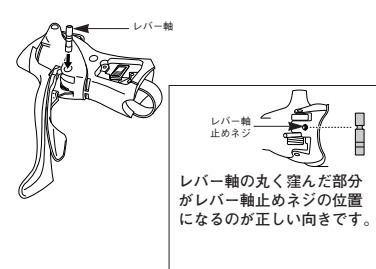
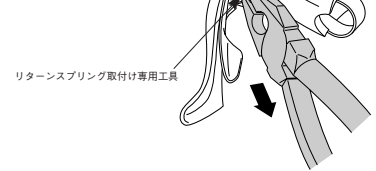
メンテナンス

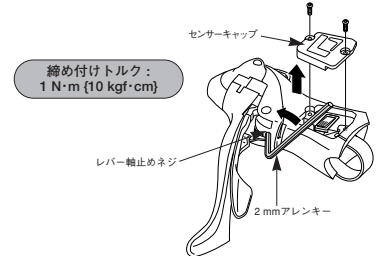
■ ブラケット体とレバー体の分解

1. センサーキャップを取り外しブラケット体下側のレバー軸止めネジを2mmアレンキーで抜き取ります。

2. アレンキー（2.5mm）などをレバー軸の穴に差し込み、プラスティックハンマーで少しづつ叩き、レバー軸を抜き出すとブラケット体とレバー体に分解できます。その後、センサーケーブルをブラケット体から抜き取ります。

注意：
センサーケーブルを抜き取る際、力を入れてひっぱりすぎるとセンサー部分が変形する恐れがありますので工具等を使ってセンサー部分をおさえ慎重に抜きとる様にして下さい。

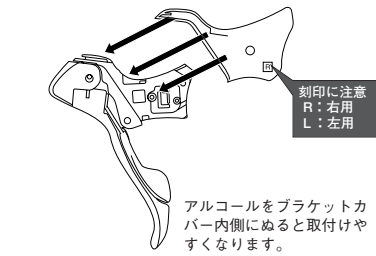
■ ブラケット体とレバー体の組み立て

1. 軸受け部にケーブル掛けを組付け、リターンスプリングをセットします。

2. リターンスプリング取付け専用工具をセットします。

3. まずセンサーケーブルをブラケット体にさし込みブラケット体とレバー体を組み付けます。
この時、リターンスプリングの先端が軸受け部の穴からはずれないように注意してください。

スプリングの位置に注意

4. 軸穴を一致させレバー軸を圧入します。

5. リターンスプリング取付け専用工具をプライヤーなどで抜き取ります。

6. レバー軸止めネジをブラケット面と揃うまで締め込みます。最後にセンサーキャップを取付けます。

締め付けトルク：1 N·m {10 kgf·cm}

■ ブラケットカバーの交換

ブラケットカバーの各凸部がそれぞれブラケット体の窪みに合うようになっています。

刻印に注意
R：右用
L：左用

アルコールをブラケットカバー内側にぬると取付けやすくなります。

この取扱い説明書は、再生紙を使用しています。
製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口
☎0570-031961
株式会社シマノ
堺市堺区老松町3丁77番地 〒590-8577